

【理数科1年生隠岐島前研修】 2日目 令和3年10月8日（金）

島根県立松江北高等学校魅力化事業の一環として昨年度に引き続き、理数科1年生隠岐島前研修を計画しました。

地元産の食材たっぷりの朝食のあと、ホテル Ento 内で4人のガイドの方に隠岐ジオパーク研修をしていただきました。日本海に浮かぶ離島、中之島海士町がなぜジオパークになったのか。地質学的事実はもちろん、後鳥羽上皇の遠流、北前船の寄港など自分たちが知識として知っている歴史が深くかかわっていること、さらにそこに人々が営んでいる生活や文化も欠かせない要素だということ学びました。

ジオパーク研修のあとは、海士町で暮らす I ターン U ターンの方を含む大人の方との座談会をしました。前日に「質問をする」ことを学んだ生徒たちは、大人の方に「質問」を積極的にすることができ、自分たちの生き方あり方について深く考える素晴らしい機会となりました。昼休みになっても、講師の方に熱心に質問したり、常松徹校長先生に人生相談をする生徒もいました。岡部株式会社林裕一様、川越大様、ふるさと海士奥田聡様、なまこファーム宮崎雅也様、隠岐潮風ファーム安田勝様、海士町立中央図書館磯谷奈緒子様、後鳥羽院資料館榊原有紀様、隠岐しぜんむら福田貴之様、海士町役場松前一孝様、濱中香理様、貴重なお話をしていただきありがとうございました。

最後は、隠岐國学習センターで「振り返り」を行いました。センター長竹内俊博さまに教えていただきながら、今回の研修で自分が経験したこと、考えたことを「たまご」の形で描いて振り返りをしました。

